

武蔵野市環境啓発施設運営会議（第8回）議事要録

日 時 令和3年3月29日（月）開会 午後6時 閉会 午後8時

開催方法 Web 会議システム使用によるオンライン開催

参加者 委員9名、事務局6名

小澤委員長、鈴木副委員長、池上委員、宮坂委員、中西委員、塩澤委員、後藤委員、越智委員、荻野委員

1 報告事項

- (1) 開館状況について

2 議事

- (1) 施設の評価について
- (2) 施設の貸出について
- (3) サポーター制度について
- (4) 事業計画について

3 その他

- (1) 次回の日程調整について
- (2) 議事要録（案）について
- (3) 交差点の標識名称について
- (4) 人事異動等について

委員意見・質疑及び事務局回答

発言者	要旨
事務局	資料1から3について説明。
委員長	来館者から満足度までの五つの評価軸について、加えるべき点等があったらお願いしたい。
委員	評価の手法について、②の施設認知度は無作為抽出によるアンケート送付を行うとのことであるが、最初に基本設計をしっかりとっていくことが大事である。一度実施し、何年後かに同じ手法でもう一度実施した結果を比較できるように基本設計する必要があると思う。無作為抽出であっても、どの地域をどのくらい抽出するか、そういった基本的なことが大事になる。また③関心度、④行動度ではアンケートの母数をどう取るか、来館者から集約するのであれば、全員に配るのかどうかといった方法も重要になってくる。その母数に対して何割に行

	<p>動変容が見られたか等、定量的に測る方法を考えていく必要がある。</p> <p>ヒアリングで定性的な評価を行う場合は、その内容の分析が重要なので、誰がそれを行うかが大事になってくる。</p>
委員長	<p>継続して調査しないと変容行動までは把握できないので、最初の質問項目等をきちんと設計しておくべきというご意見だった。宣伝しなくても興味があって来られる方や、屋根のある遊び場として来られている親子さんもいるが、未来のエコ re ゴート利用者になるという点等も考慮して調査する必要があると思う。</p>
副委員長	<p>アンケートのように明示的な評価もあると思うが、活動した記録、生み出したものをアーカイブし、集積されていったものがおのずから評価を語ることもある。例えば、パンフレット、ポスター、イベントの企画、実行したプログラムの記録等を一定のフォーマットで蓄積し、それ自体が評価の指標になるような評価の軸もあるのではないかなと思う。</p>
委員長	<p>決まり切った「満足しましたか」だけではなく、参加者・来館者が発した言葉がどう増えていったか等、グラフ理論を使った分析もある。</p>
委員	<p>広くアンケートを取り、聞いていろいろ調べることはいいと思うが、今回は広めることを控えていた部分もあるので、アーカイブによる形のほうが今は合っていると思う。こういう状況がなくなってきたら、広める対策を相談できればと思う。</p>
委員	<p>来館者はまだ目的は分からないので、とにかく体験して、その中で動きや成果物を事務局が写真等の形にして蓄積していくことが大事ではないかなと思う。</p>
委員長	<p>親子で楽しく工作したりしている姿は多いが、写真に残せるだけの余力がスタッフにあるかという懸念はある。時間を決めて、記録に残すことなどは可能かなと思うので検討していただきたい。</p> <p>評価については、丁寧にやっていかないといけない。コロナ禍できちんと取れない面もあるので、今後も検討を続けていきたいと思う。</p>
事務局	<p>ご提案いただいたような「評価の軸」をきちんと設定した上で、毎年一定の期間ごとに評価していく必要がある。</p> <p>成果物等のアーカイブと蓄積については、前のエコプラザ時代から、その蓄積が大切だというご意見をいただいているので、やっている事業では続けていく。「写真」のお話については、場に限界があるため、SNS等にアップしていくこと等も考えている。</p> <p>次回会議では、評価方法を提示するような形で進めたい。</p>

事務局	資料4と5について説明。
副委員長	貸出のルールに報告義務を入れてはどうか。フォーマットを用意し、その活動について、環境問題のジャンル（ごみ問題、地球温暖化問題、労働環境等）、目的、アウトプット等について報告してもらおう。 例えば、来客想定数やその活動でのメリット等、活動の成果をアピールしたり、写真を1枚は添付してもらうことによって、自動的にどの環境問題に特化した活動なのかが色分けされ、後で分析しやすくなると思う。借りるからにはフィードバックを義務化したら良いと思う。
委員	貸出ルール案1番の貸出の前提では、行政財産の使用料条例により使用料が発生し、一定の条件で減免されるとのことであるが、今、自由に利用している人たちからは料金を取っていない。では、どういう条件なら使用料が発生するのか。また一定の条件、減免があるのかについて教えてほしい。
事務局	専有利用が一つの条件になる。貸切希望の場合、登録がないと一定の使用料を取らなければならないので、登録していただき使用料を取らなくて済むようにしたい。
委員	基本的に、利用するときは登録するということか。
事務局	専有利用する場合に登録をお願いします。皆さんと分かち合っ使用場合は専有利用に当たらないので、今までどおりに使っただけ。
委員	副委員長の意見と重なるが、専有する場合、その専有の理由が非常に重要で優先予約に関係してくる。 2番の使用許可事業については、市民に対する環境啓発活動、市民や団体の環境活動、その他と3種類ある。市民はこの順番が優先順位と考えると思うので、市民に対する環境啓発の事業をやっていただき、市民が自由に参加できる機会をつくることに対して優先的に利用してもらってもいいのではないか。使用許可の事業の内容と優先予約の関係はすごく重要になると思う。 また、専有利用して行われた内容とそこに参加した市民への効果を評価する必要があると思う。エコレポートが目指しているところに効果的な事業なら優先的に貸し出すべきで、その効果をきちんと測り、「応援していこう」というような市民の評価につなげていくことは大事だと思う。評価の作り方も、事業の主催者がどう評価するか、参加した人がどう評価するかというところで工夫が必要だと思う。 貸出のルールを決めてリリースする前に、説明する機会、周知の期

	間を設けたほうが良いと思う。
事務局	資料6と7について説明。
副委員長	<p>サポーターについて、無償のボランティアへ期待するものと集まった方の間にギャップが生じる可能性もある。最初から枠組みを決めようとし過ぎているのではないか。専門家としての一定の能力を条件にしているわけではないので、どなたでも歓迎して、集まった方に応じて考えればいいのではないかと思う。</p>
委員長	<p>15名のアンケート集約結果と検討の論点をまとめていただいたが、もう少し考える必要がある。</p> <p>常駐のスタッフとサポーターのすみ分けもまだ見えない。コロナ禍での活動と、具体的に動き出したときのイメージも、私自身で重ならないところがある。</p> <p>学び合いの場としての機能を考えていたが、啓発施設の在りようがどこまで共有されているか。京(みやこ)エコロジーセンターや豊田市の施設には、サポーターのイメージとして、インタープリター、ファシリテーターのような人がいる。</p>
委員	<p>やってみなければ分からない部分が多いが、環境啓発施設として環境啓発の主催事業をしっかりと行うには、スタッフだけではなく、サポーターの知恵も取り入れてやるのが大事だと思う。</p> <p>サポーターの役割を、安易に、例えば受付をと考えてしまうこともあるが、窓口は最初に利用者に接する場なので大事にするべきである。そういう意味で、サポーターに担っていただく業務は非常に難しいので、よく議論したほうが良いと思う。</p>
委員長	<p>環境啓発事業として機能させるために、行政の立場、ディレクター、スタッフ、そしてサポーターそれぞれが、環境に対して多様な意見を出せることが基本。そこに、環境に対する市民のさまざまな思い、考え方を主体的なものとして大事にしてもらえるとありがたい。</p> <p>今は企業でもSDGsへの投資が重要視されてきたが、何が何でもSDGsを満たすのではなく、その目標への関わり、つながりを意識できるように柔軟な考え方で市民に声掛けし、声をキャッチして、企画を担っていただきたい。</p> <p>ある年齢層が持っている暗黙知、生活知ともいえる日本の伝統知も捨てたものではないが、年齢を重ねると頑固な部分も出てくる。サポーターには、そこを柔らかく対応していただき、多様性、主体性等い</p>

	<p>ろいろなつなぎ役を担ってもらえるとありがたい。</p>
委員	<p>記録を取る業務はしっかりやってもらったほうが良い。ファシリテーションが一番大事だと思うので、正規のスタッフはそこに注力し、市民と市民をつなぐ役割を果たしてほしい。他の業務等をサポーターの方に担ってもらえるような、すみ分けがあると良いと思う。</p>
事務局	<p>記録をきちんと取り蓄積していくことや、事業の機能を拡充していく等、ファシリテート・コーディネート業務を大事にすると、一定の手数が必要になるので、ここでお諮りしたという事情がある。</p> <p>あまり制限を掛けず、枠を決めなくてもいいというご意見は非常に心強い。施設に関心があってサポーターをやりたい方にまずお声掛けし、適した関わり方についてのご意見を皆様に伺いながら、関わっていただくスタイルができれば一番ありがたい。</p>
委員長	<p>サポーターの件は継続して考えていく。</p>
事務局	<p>資料8と9について説明。</p>
委員	<p>前は「トリセツ」を検討・承認いただいた。今回は「ひろば利用」について検討していただきたい。</p> <p>エコレポートでは集客を伴う事業は実施できないということで、昨年連携会議で議論してきたことができない。そこで、利用している人を対象に実施する事業を「ひろば利用」と名付けた。ひろばをしたい人が「〇〇ひろば」と名付けて実施し、関心がある人が出入り自由で参加する。市民が市民に対してそういう場を提供するものである。基本的に「〇〇ひろば」の「〇〇」は環境に関するテーマで実施する。</p> <p>利用の流れは、「〇〇ひろば」をしたい人がテーマを決め、スタッフに申し出る。内容・日程を調整して当日実施、スタッフは案内程度の協力をする。終了後はスタッフに報告し、それをアーカイブする。</p> <p>内容によっては、事前にモヤモヤ会議への相談も勧めていただき、当日の運営をモヤモヤ会議がサポートすることが可能か検討する。</p> <p>できれば、4月、5月の間で試験的に実施してみたい。ひろば開催場所はスタッフに相談して場所を決める。ひろばでの利用者の見守り等の手薄なところはモヤモヤ会議メンバーで配置等を検討して実施していきたい。来月、再来月と、一定期間コンスタントに試験実施し、実施状況をこの運営会議で報告して、検討していきたい。</p> <p>この「ひろば利用」の試験実施の承認をお願いしたい。</p>
委員長	<p>試験的にやってみるということについてお認めいただけるか。</p>

委員	<p>エコ re ゾートは生まれたばかりなので、何をやるかは、まず遊んで体験して、利用してもらってから生み出していくことが重要だと思うので、ぜひ実施したら良いと思う。</p>
委員	<p>やってみることは大事だと思うので、このアイデアは良いと思う。実績を上げるのも非常に良い。</p> <p>モヤモヤ会議のメンバーというのは何名ぐらいか、どういう方がいるのか、簡単に解説してほしい。</p>
委員	<p>お声掛けする中で徐々に増え、現在 10 名ぐらいで、基本的に連携会議に参加していた方である。</p>
委員長	<p>実施し、報告いただく。</p> <p>補助金の対象となった事業について、委員から説明をお願いします。</p>
委員	<p>環境啓発事業費補助金対象事業の説明。</p> <p>事業を通じて、サポーターは、やはりあまり間口を狭くせず、いろいろな人を集めて、できることを探っていくのが良いと思った。その一つで、SNS やメディアを利用して広報してくれるようなサポーターがいると良いと思う。地域で子育て世代に発信力のあるブログ等をやっている方にエコ re ゾートの趣旨に共感していただき、サポーターになってもらうことで、市民の末端まで届きづらい良い取組が伝わっていくと思う。</p> <p>先ほどもスタッフはファシリテート、コーディネートに特化すべきという話があった。いろいろな意見やアイデアをお持ちの方がいても、自分で調整して企画を実現するのは難しいが、エコ re ゾート側にコーディネーター的ポジションがあると、しっかりしたイベントになっていくと思う。スタッフの方でディレクターのようなポジションの方は、その業務に特化して表に出てきていただくと良い。</p> <p>モヤモヤ会議とも関連するが、継続して話し合い、実現していく場はとても大事なので、モヤモヤ会議は塩澤さん中心に進めていただき、私も今回のメンバーたちと継続的に作戦会議を行い、仲間を集めながらエコ re ゾートの方たちにつながりたいと思っている。</p>
事務局	<p>市民の方から、むさしのエコ re ゾートができたことによる、交差点の信号機の名称変更のご意見をいただいた。現在の名称は「市役所裏」であるが、せっかくむさしのエコ re ゾートができたので「エコ re ゾート前」等のほうが良いのではないかというご提案。内部での調整では技術的には可能であるが、文字数、文字種（エコ re ゾートの re）等について、道路設置者である武蔵野市と警察の間の調整が必要である。皆様のご意見を伺いたい。</p>

委員	ぜひ進めてください。
委員長	皆様ご賛同ありがとうございます。
事務局	人事異動についての報告。
委員長	ありがとうございました。